

▼キシロカイン注射液「0.5%」エピレナミン（1：100000）含有 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 リドカイン+アドレナリン lidocaine+adrenaline 【分類】 局所麻酔剤

【単位】 ▼20mL/V [0.5%] (エピレナミン0.01mg/mL)

【常用量】 0.5%液の基準最高用量1回100mL■0.5%液として硬膜外麻酔：5～30mL，交感神経遮断：5～20mL，伝達麻酔：3～40mL，肋間神経遮断 5mLまで，浸潤麻酔：2～40mL

【用法】 局所注射

【透析患者への投与方法】 ヘパリンの影響が残っている患者では出血しやすいので血腫形成や脊髄への障害を起すことがあるため慎重投与（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし（1）

【特徴】 キシロカインの使用量は200～300mgが安全域であるが、エピレナミンを加えることにより500mgまで使用可能とした製剤

【主な副作用・毒性】 ショック，意識障害，振戦，痙攣，呼吸困難，心停止，頻脈，顔面潮紅・蒼白など

【蛋白結合率】 10～60%

【MW】 リドカイン234.34，アドレナリン183.20

【相互作用】 ハロゲン含有吸入麻酔薬との併用患者では頻脈，不整脈等に注意（1）

【更新日】 20180709

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等で確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。